

ライフスタイル

☎026-236-3143 ✉kurashi@shinmai.co.jp

時間つなぎ戦争触れ直す

①

ビデオカメラで撮影して、心が動かされたのに、映画に入れられず取りこぼしたものを、もう一度、言葉によってすくいいたい。

上映されている。久保田さんが触れたいと願ったのは、史実や戦争の記録ではなく、祖父や出会った人が戦争の時代にどう生き、どんな感情を抱いたかだった。戦後、何十年もの間、戦争を振り

記憶の中の



I

久保田桂子

シベリア

「祖父の日記帳と私のビデオノート」(2013年)は、敗戦後の4年間、シベリアで捕虜生活を送った祖父・直人さん取材した作品。もう一つの「海へ 朴さんの手紙」(16年)は、韓国・ソウルに暮らす元日本兵が親友に宛てた手紙の行方を追った。二つを合わせ、「記憶の中のシベリア―祖父の想い出、ソウルからの手紙」というタイトルで各地で

を浮かべる。

「祖父の日記帳と私のビデオノート」(2013年)は、敗戦後の4年間、シベリアで捕虜生活を送った祖父・直人さん取材した作品。もう一つの「海へ 朴さんの手紙」(16年)は、韓国・ソウルに暮らす元日本兵が親友に宛てた手紙の行方を追った。二つを合わせ、「記憶の中のシベリア―祖父の想い出、ソウルからの手紙」というタイトルで各地で

久保田さんの映画 長野で19日から上映

「祖父の日記帳と私のビデオノート」と「海へ 朴さんの手紙」の2作品を同時上映する「記憶の中のシベリア」は19~25日、長野市の映画館「長野相生座・ロキシー」(☎026・232・3016)で。19日午後1時20分からの上映後、久保田さんの舞台あいさつがある。

映像作家 久保田 桂子さん



「映画に収めきれなかった映像を1冊の本につむぎだした」と話す久保田桂子さん

くぼた・けいこ 1981年上伊那郡飯島町生まれ。武蔵野美術大映像学科卒業。同大学イメージグラフィックに2013年まで勤務。14年から飯島町在住。

人々が秘めていた風景として考えると、戦争は現在のもの

振り返り、思いを積み重ねてきた言葉を通して、「戦争のずっと後に生まれた私が、遠く隔たった時間をつなぎ、触れ直すことができた。それは戦争を体験した人たちの願いや祈りの結晶かもしれないと思つたという。04年から始めた取材で撮りためたデータは膨大な量に。だが、その大半は編集でカットしなければならず、当事者の思いを伝えられないことに絶望的な気持ちにもなった。そんな思いを救ってくれたのが、出版の話だった。執筆を依頼した東洋書店新社の編集者、岩田悟さん(32)は、シベリア抑留の解説書ではなく、久保田さんが「歴史とどう向き合ったか」を記してほしいと考えた。「戦争を体験した祖父世代から直接話を聞ける最後の世代。個人の記憶を掘り下げ、久保田さんの心の旅を記録する。体験者のリアルな語りを通じて、読者が追体験できることが大切だと思つた」

取材中、久保田さんはたびたび「想像力の限界」を感じてきた。「祖父や取材した人が生きた風景は見えない。手応えを求めるといつも足りない」。少しでも近づけるように一生懸命「スケッチするように」、その人が一番大事にしているものを感じるように努めた。

15日、72回目の終戦記念日を迎える。取材した祖父も、元日本兵の韓国人男性も亡くなった。「戦争を歴史的史実として大きくくれば、戦争は過去のもの。けれど、私の出会った人々が胸の中に秘めて生きていた風景として戦争を考えると、戦争は現在のものだと思う。そう捉えて、過去と今を分けずに記憶を手渡していきたい」(河原千春)

戦後72年の夏。あの戦争の記憶を語り、受け継ごうとする人々を追う。

▼「大 昨年、永六六の深く残った紡ぎ出された永らかなる例え

大

「知らぬ美文調の葉になたる名作

骨格知って すてきな オシャレ

小島葉子 ⑩

骨格は、年齢を重ねるごとにその特徴が顕著になってきます。徐々に袖を通した服に「あれ?何だか違う」と感じた経験を持つ人は多いはず。

「ト」さんの服選び



シルエットとサイズ感が大事

提案します。上半身にポリウレムがある「ストレート」さんの服選びのポイント シルエットとサイズ感③すっきりと

トは①しっかりと素材(特にトップス)②体と付かず離れずのシルエットとサイズ感③すっきりとしたシルエットの3点です。 トップスはパリッとした綿シャツか、フェミニンな雰囲気にならぬシルクのような厚手で張りのあるものを基本に。 お勧めスカートのシルエットはタイトです。シンプルでフラットな生地、レース地、デニム地など、自分が一番スタイル良く見えるシルエットをキープしつつ、素材や色を変えたりバリエーションが広がります。フレアスカートなら、ウエストからヒップの頂点あたりまでがタイトであれば、着太りせずにはいります。

ンを付る(こつ)着るアッパ断的「ト」ズ感が多いインに分か小物やお勧めは、き